



久 留 米 大 学

御 井 図 書 館 ニ ュ ー ス

No.101 2019 年 9 月 1 日 発 行

「デジタル化」雑感

大学院比較文化研究科長 石川 真人

私の専門領域で学術雑誌が創刊されることになった。案内によると、これはいわゆる電子ジャーナルで、紙媒体での発行はしないとのことである。ご時勢だから仕方ないと思いつつ、あれこれ疑問がわいてくる。電子化のメリットは理解できる。紙媒体による発行に比べて、発行する側は費用を節約できるし、保存する側は場所を節約できる。しかし、デメリットもある。紙媒体のものは、図書館に配架されれば、読めなくなることはない。万一、ある図書館が火事で全焼しても、同じものが他の図書館に必ずある。これに対して、電子媒体のものは読めなくなるかもしれない。未来永劫、データが供給され続ける保証はどこにもないのだ。結局、現時点で必要なもの、あるいは、これから必要となりそうなものについては、各自がダウンロードして、プリントアウトしたものを保存することになるが、今は不要でも後で必要になったとき、やはり読めないかもしれない。

学生時代、法律学はとても難しいと感じた。とくに民法は、歴史が長い分、概念が洗練されており、言葉の意味がなかなか理解できなかった。そこで、授業が終わった後で（先生が脱線しているときは授業中に）法律学辞典で意味を調べるようにした。教員になってからは、学生にも同じことをするように勧めている。その結果、ゼミ生の多くは法律学辞典を購入する。彼らに質問すると、おもむろにこれを調べる（できればゼミの前に調べてほしいのだが）。法律学辞典が廉価でないためか、購入しないゼミ生もいる。彼らに質問すると、おもむろにスマホで検索して朗読する（できれば正確に朗読してほしいのだが）。そんなシーンを目の当たりにすると、これもご時勢かなと思う。

インターネット上の情報は不正確であることが多い。発信者が不明なことも多い。しばしば削除や変更がなされ、削除される前はどんな内容だったのかも、どこがどう変更されたのかもわからない。これに対して、図書館には著者も出版社も内容も確かな本が数多くある。責任の所在が明らかなので、叙述の内容に問題があれば、批判することもできる。だから、図書館に行って調べるように指示するのだが、あまり行かないようだ。

本学の図書館は、経費節減のため、紙媒体を減らし電子媒体を増やす傾向にある。法律的に表現すれば、有体物から無体物へシフトしつつある。これもご時勢であろう。しかし、有体物の収集・保存もまた、いや、むしろこれこそが図書館の使命であることを忘れてはならない。この使命を果たしている限り、いくらスマホが普及しても、図書館が不要になることはない。逆に、無体物にシフトしすぎることは自殺行為に等しい。本がなく、コンピュータだけが並んでいる空間は、もはや「図書館」とは言えない。

私の図書館利用

比較文化研究科 1 年 茂山 美紀

今年の春に学部から大学院へと進学して、久留米大学での生活も 5 年目となりました。大学院に進学してから図書館の利用頻度は学部生の頃よりも減りましたが、利用目的は以前よりも広がりました。

大学に入学してすぐの頃、私は教職課程の履修が決まっていたこともあり、同じ教職仲間とすぐに親しくなりました。はじめの頃はその仲間と楽しく過ごせていましたが、どこに行ってもつきまってくる仲間をだんだん煩わしく感じるようになりました。そのとき逃げ場として思いついたのが図書館です。図書館では騒ぐことができないので、誰かがついてきたとしても集中して勉強ができると考えての行動でした。しかし、ついてくる仲間は自習室でも終始声を潜めて話しかけてくるため、なかなか集中できませんでした。

もう諦めるしかないか、と考えていたときに研究個室の存在を知りました。知った直後に早速図書館へ行き、研究個室を借りてみました。そこは勉強場所として理想そのもので、学部生の頃は卒業するまで何度も研究個室に通いました。

このように、学部生の頃の図書館利用は研究個室の利用が主であり、誰にも邪魔されることなく静かに自分の勉強ができる場所として重宝していました。しかし、重宝していたのは場所だけであり、肝心な本や資料は必要最低限の利用しかしていませんでした。学部生の頃はそれでなんとか済ますことができましたが、大学院生はそうはゆきません。私は授業で改めて図書館の利用方法を教えてもらい、今までほとんど利用してこなかった資料の取り寄せやコピー、地下室の利用などに数度挑戦してみました。最初は漠然とした不安があり緊張しましたが、回数を重ねるごとに慣れてきて、以前よりも調べ物が楽しくなりました。

最初に述べたように、私は大学院に入ってから、図書館の利用目的が広がった代わりに利用頻度が減ってきています。それは、時間や気持ちに余裕がないことにも起因していますが、まだまだ図書館を使いこなせていないことと、調べる内容が明確でないことが挙げられます。来年には修士論文の作成が控えています。現在集めている資料や情報を一度整理し、さらに深い研究ができるように今後も図書館を有意義に利用していきたいと思います。



『選書ツアー』を実施しました！

御井図書館では毎年、学部生を対象に選書ツアーを実施しています。1人5万円を上限に、自分が読みたい本・図書館に備え付けて欲しい本を店頭で実際に手に取って選ぶことができます。今年度は6月22日（土）にジュンク堂書店福岡店（メディアモール天神）にて実施しました。文学部・法学部・経済学部・商学部生の計11名が参加し、約230冊の図書を選書していただきました。1階の選書ツアーコーナーへ排架していますので、どうぞご利用ください。

※参加した学生の感想

自分が普段なら行かないような分野のコーナーに足を踏み入れ、ここにはこんな面白い本があったのかと新しい発見がありました。
自分では買えないような本をたくさん買えてとても楽しかったです。

今回、大学に入ってから初めて選書ツアーがあるというのを知り、参加しました。欲しかった本、読みたかった本が何でもあったので良かったです。
後期にまた選書ツアーがあれば是非参加したいと思います。

初めてジュンク堂に来て、上から下までゆっくり見れて楽しかったです。本を探していくうちに、当初の予定にないけど読みたくなる本が見つかって良かったです。時間が長いかなと思っていたけど、ちょうど良かったです。



寄贈図書（学内関係者）

受入期間：2019年4月1日～2019年8月31日

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浅見 良露	低成長時代の経済学：20年を振り返って	久留米大学経済学部20周年 記念誌編集委員会編	九州大学出版会
浅見 良露	韓国統計年鑑 第31号：1984	姜五住編輯	経済企画院統計局
浅見 良露	서울통계연보 제24회(1984)	서울특별시 기획관리관 편집	서울특별시
浅見 良露	火山山麓の土地利用	丸山浩明著	大明堂
浅見 良露	長州・北浦捕鯨のあらし	河野良輔著	長門大津くじら食文化を 継承する会
浅見 良露	The 1st summit of Japanese Traditional Whaling Communities, Nagato, Yamaguchi : report and proceedings	Institute of Cetacean Research and Japan Whaling Association	Nagato City
高松 基助	知られざる「ドイツ兵久留米俘虜収容所」の歴史を伝える		フォーネット
高松 基助	山紫水明：日田の風光	穂坂重吉著	穂坂重吉
駄田井 正	筑後川まると博物館：歩いて知る、自然・ 歴史・文化の143キロメートル	筑後川まると博物館運営委 員会編	新評論
塚崎 公義	一番わかりやすい日本経済入門	塚崎公義著	河出書房新社
塚崎 公義	日本経済が黄金期に入ったこれだけの理由	塚崎公義著	河出書房新社
辻本 尚弥	医師のためのTUE申請ガイドブック2019		日本アンチ・ドレーピング機構
辻本 尚弥	禁止表国際基準		日本アンチ・ドレーピング機構
堂前 亮平	福岡県謎解き散歩	半田隆夫, 堂前亮平編著	新人物往来社
堂前 亮平	巨大都市圏における周辺都市	日本都市学会編	地人書房
堂前 亮平	都市と文化	日本都市学会編	地人書房
堂前 亮平	大都市問題と地方拠点都市	日本都市学会編	ぎょうせい
堂前 亮平	地方の時代と都市	日本都市学会編	ぎょうせい
堂前 亮平	都市の適正規模・日本海都市	日本都市学会編	地人書房
堂前 亮平	内陸都市の諸問題	日本都市学会編	地人書房

寄贈者名	書名	著者名	出版者
藤田 中	面会謝絶だあ：孤高の考古学者・原田大六	藤田中著	西日本新聞社
吉田 洋一	耶馬溪文庫蔵書目録		本耶馬溪町教育委員会
吉田 洋一	筑後国府跡：発掘調査概報 平成 15 年度		久留米市教育委員会
吉田 洋一	龍頭（りゅうとう）遺跡群 2		那珂川町教育委員会
吉田 洋一	津田町遺跡	[直方市教育委員会編]	直方市教育委員会
吉田 洋一	雲心寺・随専寺墓地遺跡	[直方市教育委員会編]	直方市教育委員会
吉田 洋一	圓徳寺遺跡		直方市教育委員会
吉田 洋一	信州モノづくり博覧会：モノづくりの東西交流	長野市立博物館編	長野市立博物館
吉田 洋一	玄界灘の江戸時代	福岡市博物館編集	福岡市博物館
吉田 洋一	蘭学館図録	武雄市図書館・歴史資料館編	武雄市図書館・歴史資料館
吉田 洋一	頼山陽と耶馬溪	近砂敦編纂	燦々プロジェクト
吉田 洋一	耶馬溪名付親・頼山陽		「耶馬溪」誕生!200 年 記念祭実行委員会
吉田 洋一	肥前路を行く	佐賀県立博物館編	佐賀県立博物館
吉田 洋一	日本美術のなかの西洋	福岡市美術館編集	福岡市美術館

※寄贈者名：敬称略。本学教員著書は、図書館 1 階 寄贈図書コーナーに排架。



2019 年度第 2 回 選書ツアー参加学生募集

御井図書館に置いて欲しい本を、書店で手に取って選ぶことができます！

- 日 時**：2019 年 10 月 5 日（土）10：10～12：30
場 所：ジュンク堂書店 福岡店〔メディアモール天神〕
対 象：文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部の学部生
定 員：各学部 先着 10 名
選書額：1 人 50,000 円まで
申込方法：2019 年 10 月 3 日（木）までにメールにて申し込み
送信先：mii-lib@kurume-u.ac.jp 件名：『選書ツアー申し込み』



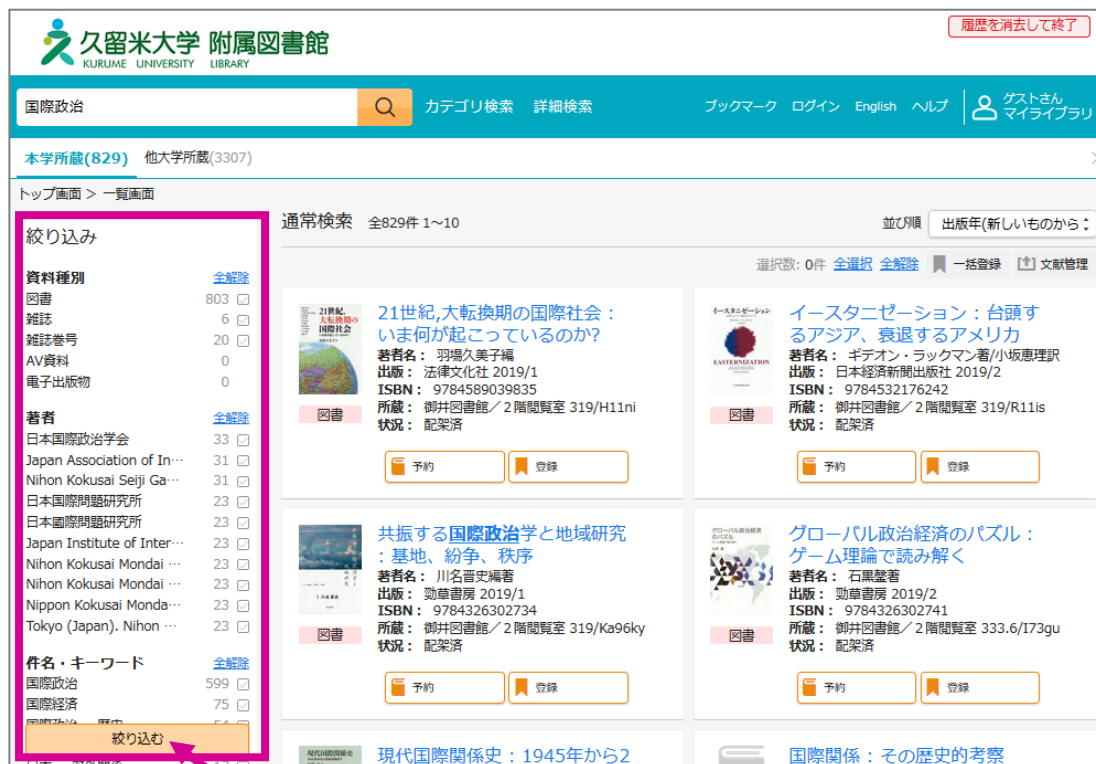
本文に ①学籍番号、②氏名、③携帯電話番号、④メールアドレスを明記

特典：参加者には 1000 円分の QUO カードを進呈

資料の検索画面が変わりました！

New

2019年8月、OPAC（蔵書検索）画面とマイライブラリ画面が新しくなりました。
また、スマートフォンに適した画面デザインで機能を利用できます。



検索結果一覧の絞り込み条件について、複数条件が指定できます



マイライブラリでは

- ・貸出期間の延長
- ・貸出/予約状況照会
- ・文献複写依頼
- ・現物貸借依頼
- ・図書購入依頼
(御井専任教員のみ)
- ・貸出履歴の確認

などができます



新聞記事データベース

『^{きくぞう}聞蔵Ⅱビジュアル』(朝日新聞)と『ヨミダス歴史館』(読売新聞)の
同時アクセス数が期間限定で増加します！！

聞蔵Ⅱビジュアルとは？

朝日新聞社が提供する 1879 年(明治 12 年)の創刊号から今日まで、140 年にわたる紙面から約 1500 万件の記事・広告が検索できる日本国内最大級の新聞記事データベース。雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録。

実施期間：2019 年 10 月 1 日(火)～10 月 14 日(月)

同時アクセス数：50(通常は 2) ※御井キャンパス限定

URL：<http://database.asahi.com/index.shtml>



ヨミダス歴史館とは？

明治からの読売新聞記事 1400 万件以上がネットで読めるデータベース。
「明治・大正・昭和」「平成」のほか、「The Japan News」「現代人名録」の計 4 つのコンテンツが利用できます。

実施期間：2019 年 9 月 23 日(月)～12 月 22 日(日)

同時アクセス数：100(通常は 1) ※御井キャンパス限定

URL：<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>



この機会に授業等で是非ご活用ください。

※利用ガイドなど詳しくは御井図書館ホームページ-データベース一覧-でご確認ください。

URL：<http://www.std.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/databaselist.htm>

図書館利用状況（2019年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	合 計
開館日数		29	25	30	30	27	141
入館者数	対前年同月比	351	-1,806	-993	472	-152	-2,128
	合 計	13,668	13,610	14,666	20,106	6,292	68,342
	対前年同月比	110	-1,264	-840	304	-206	-1,896
	学内者	12,407	11,967	12,769	18,197	5,260	60,600
	対前年同月比	241	-542	-153	168	54	-232
地域住民 登録・更新数	その他学外者	1,261	1,643	1,897	1,909	1,032	7,742
	対前年同月比	-2	-23	18	-8	-9	-24
貸出冊数 (全体)	地域住民	86	40	68	27	25	246
	対前年同月比	1,255	20	784	790	93	2,942
	合 計	3,946	3,590	3,983	4,433	1,922	17,874
	対前年同月比	443	-36	253	335	107	1,102
	内、夜間	630	831	1,017	1,090	361	3,929
貸出冊数 (学生)	対前年同月比	122	-51	105	1	191	368
	内、土・日曜	461	301	492	400	447	2,101
	対前年同月比	305	119	663	690	-154	1,623
	合 計	2,253	2,924	3,113	3,634	1,125	13,049
	対前年同月比	33	28	204	275	-15	525
貸出冊数 (教職員)	内、夜間	434	638	752	884	223	2,931
	対前年同月比	-9	20	54	-16	60	109
	内、土・日曜	109	158	257	210	181	915
	一人当たりの貸出数	0.39	0.51	0.54	0.63	0.20	2.27
	対前年同月比	913	-44	88	40	161	1,158
貸出冊数 (その他学外者)	合 計	1,282	340	384	337	389	2,732
	対前年同月比	-1	-9	16	0	36	42
	内、夜間	60	56	87	57	53	313
	対前年同月比	201	-22	10	5	30	224
	内、土・日曜	233	39	38	50	54	414
貸出冊数 (その他学外者)	対前年同月比	37	-55	33	60	86	161
	合 計	411	326	486	462	408	2,093
	対前年同月比	64	-10	33	40	34	161
	内、夜間	136	137	178	149	85	685
	対前年同月比	-70	-49	41	12	101	35
AVライブラリー 利用件数	内、土・日曜	119	104	197	140	212	772
	対前年同月比	-1	-1	4	5	-1	6
	合 計	21	36	29	26	3	115
	対前年同月比	-3	-1	1	2	1	0
	学 生	3	2	1	3	3	12
相互利用 (文献複写) 申込件数	対前年同月比	-1	-2	4	3	-2	2
	教職員	15	31	28	23	0	97
	対前年同月比	3	2	-1	0	0	4
	その他学外者	3	3	0	0	0	6
	対前年同月比	69	-5	23	102	13	202
相互利用 (現物貸借) 申込件数	合 計	101	62	94	181	61	499
	対前年同月比	36	2	27	95	-6	154
	学 生	55	38	60	133	10	296
	対前年同月比	33	-7	-4	7	19	48
	教職員	46	24	34	48	51	203
相互利用 (現物貸借) 申込件数	対前年同月比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0
	対前年同月比	-4	-8	-16	23	3	-2
	合 計	14	13	21	31	16	95
	対前年同月比	0	4	2	-1	0	5
相互利用 (現物貸借) 申込件数	学 生	5	9	5	2	3	24
	対前年同月比	-4	-12	-18	24	3	-7
	教職員	9	4	16	29	13	71
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0

<貸出冊数についての注記>

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. 「夜間」とは17：00-21：00の夜間開館時間および閉館中の時間を指す。
*なお、4月1日-4月9日、8月16日-9月20日、12月24日-12月27日、2月1日-3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 学生一人当たりの貸出数は、2019年5月1日現在の御井キャンパスの学生数 5,746人で算出。
(留学生別科、聴講生は除く)

編集・発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635
TEL：0942-44-4015 FAX:0942-43-0348
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>